



ロックテックス 製品説明書

- 600-0150 リターンクリヤー(艶有)
- 600-0151 リターンマットクリヤー(艶消し)
- 600-0110 リターンハードナー(硬化剤)



ROCK PAINT

Instruction Manual for ROCKTEX

2 液硬化型アクリルウレタン樹脂塗料

ロックテックス リターンクリヤー (全艶有り主剤)

ロックテックス リターンマットクリヤー (全艶消し主剤)

ロックテックス リターンクリヤー (3分艶 5分艶 7分艶)

リターンクリヤーは自社開発の高弾性樹脂・高弾性硬化剤を採用しており、傷の要因となる外部応力を緩和・反発し、擦り傷が付き難い塗膜を形成します。全艶有りと7分艶、5分艶、3分艶および全艶消しをラインナップしております。

特 徴

- 1.弾性のある、擦り傷が付き難い塗膜を形成
- 2.軽度な擦り傷は自己修復
注意: 塗膜が破れた傷は修復致しません。
- 3.各種樹脂素材への付着性
(PET、ABS、PMMA)
- 4.リコート性良好
- 5.優れた塗膜性能を発揮
→耐薬品性・可とう性良好
- 6.特化則対応
→エチルベンゼン、MIBK等を含みません。
- 7.消防法
→第二石油類に該当する為、第一石油類の塗料に比べ倉庫保管量を増やせます。



主な用途

各種鋼製部材及び樹脂部材を擦り傷から保護するトップコート

用途例: 車両内装部品、内装装飾品、家電、冷凍機器、医療・福祉用ベッド、インテリア、ドアノブ、仏具、メガネフレーム、ゴルフクラブのヘッド、掃除用具、釣竿・釣り具



ロックペイント株式会社

2018.3 第7版



Instruction Manual for ROCKTEX

ROCK PAINT

製品名・品番 (容量/荷姿)

品番	品名	缶種	入り目
600-0150	ロックテックス リターンクリヤー (主剤・全艶有り)	01	16kg
600-0151	ロックテックス リターンマットクリヤー (主剤・全艶消し)		
600-0153	ロックテックス リターンクリヤー3分艶 (主剤・3分艶)		
600-9000 TEX-0155	ロックテックス リターンクリヤー5分艶 (主剤・5分艶)	02	3 kg
600-9000 TEX-0157	ロックテックス リターンクリヤー7分艶 (主剤・7分艶)		
600-0110	ロックテックス リターンハードナー (硬化剤)	61	8kg
		6G	1.5kg
051-0102	エコマルチ 反応促進剤	68	300g 6本入
016-F770	エコマルチシンナー #05(クイックドライ)	01	16L
016-F771	エコマルチシンナー #10(速乾)	01	16L
016-F773	エコマルチシンナー #20(標準)	01	16L
016-F775	エコマルチシンナー #30(遅乾)	01	16L
016-F776	エコマルチシンナー #40(超遅乾)	01	16L

塗料性状

項目	規格			
	600-0150	600-0151	600-0153	600-0110
粘度 試験方法	21.0~25.0 秒 FC#4/20°C	85~95KU スターマー粘度 計/20°C	56~66KU スターマー粘度 計/20°C	29.0~33.0 秒 FC#4/20°C
加熱残分 JIS K 5601-1-2(wt%)	37.4~41.4	45.2~49.2	49.8~53.8	66.0~70.0
比重 JIS K 5600-2-4	0.95~0.99	1.01~1.05	1.00~1.04	0.99~1.03



ロックペイント株式会社

2018.3 第7版



ROCK PAINT
塗装仕様

Instruction Manual for ROCKTEX

- ・ 使用する前にはよく攪拌してください。
 - ・ 希釈には 016 ライン エコマルチシンナーを使用してください。
 - ・ 下塗り塗膜はプレソル等を用いて脱脂を行ない、表面調整を十分実施してください。
- (本塗料を素地に直接塗装すると、密着不良となる場合がある為、素地に密着するベースコート、若しくは、プライマー+ベースコートに対する トップコートとしてお使いください。)

塗装方法		エアスプレー		
配合割合 (重量比率)	塗料	600-0150 リターンクリヤー 全艶有り	600-0151 リターンマットクリヤー 全艶消し	光沢調整品 リターンクリヤー 3~7分艶※1
	硬化剤	600-0110 リターンハードナー		
	[主剤:硬化剤=2:1]	塗料 100 部		
	シンナー	15~40 部	70~130 部	
	反応促進剤	051-0102 エコマルチ 反応促進剤 5 部		
塗装粘度 IWATA CUP / 20°C		9~13 秒		
膜厚		30~40 μm	15~25 μm※2	30~40 μm※2
硬化条件		10 分間のセッティング後 60°C×1 時間 70°C×30 分 80°C×20 分		

※1 600-0153(3分艶)、600-9000TEX-0155(5分艶)、600-9000 TEX-0157(7分艶)

※2 指定膜厚以外での塗装を行うと艶ムラや光沢の上昇を起こす可能性があります。

仕様例

基材	各種鋼板、亜鉛メッキ鋼板、 ステンレス、アルミニウム板等	PET、ABS、PMMA 等
プライマー	1 液変性エポキシ塗料 (ロックメタルアーマーECO 051L 等)	樹脂パーツエコプライマー クリヤー (051-4F05)
ベースコート	2 液ウレタン塗料 (ハイロック DX ハイロック ECO 073L、 パナロック 088L 等)	-
クリヤーコート	リターンクリヤー、リターンマットクリヤー、リターンクリヤー光沢調整品	



ロックペイント株式会社

2018.3 第 7 版

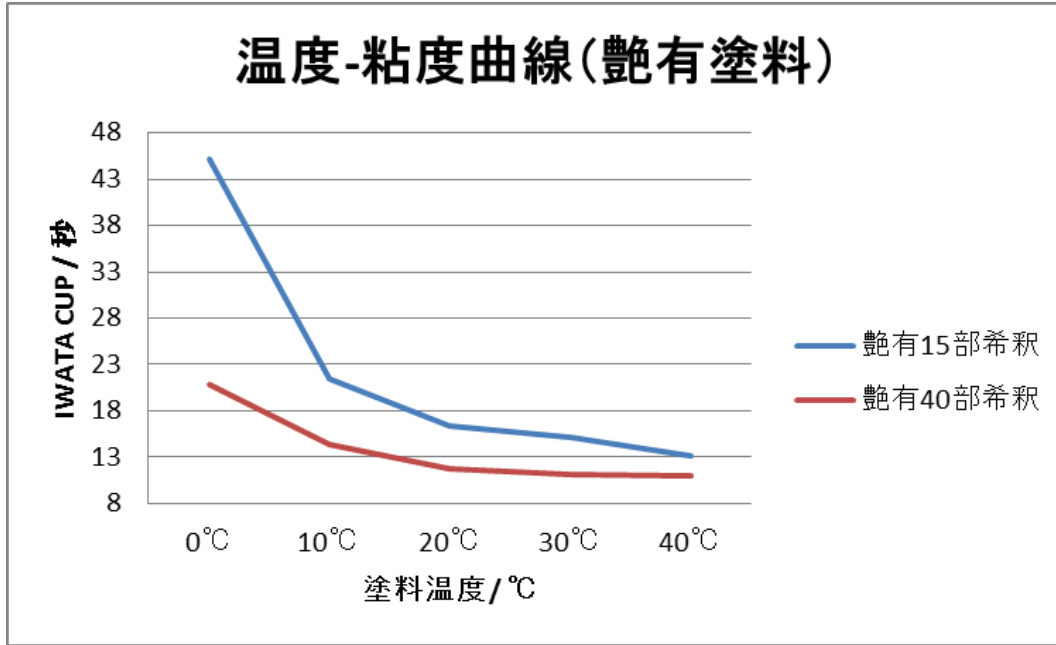


ROCK PAINT

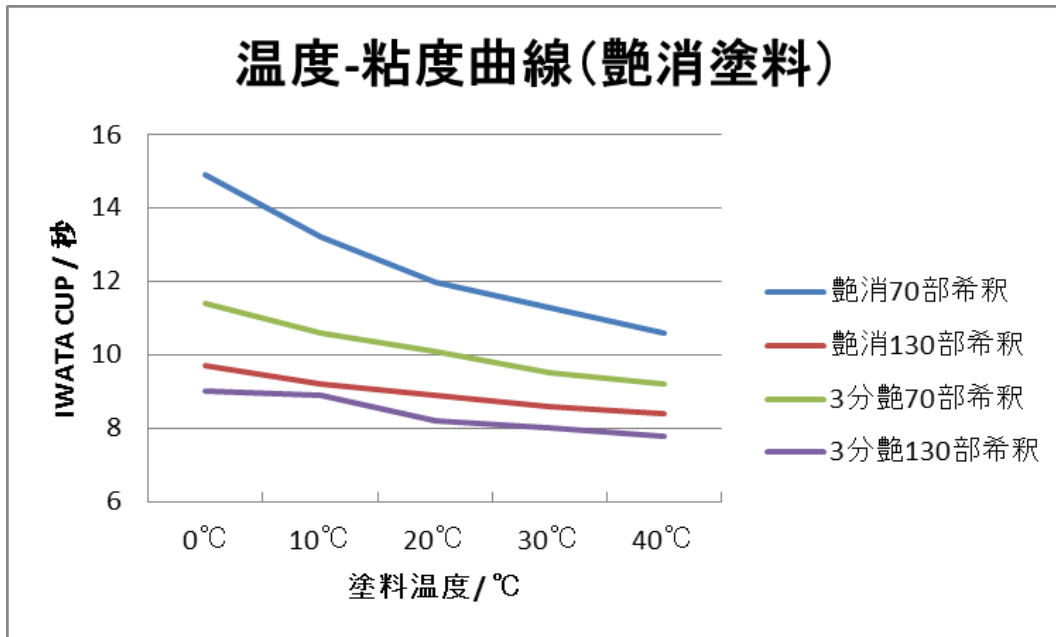
温度-粘度曲線

Instruction Manual for ROCKTEX

①600-0150 温度-粘度曲線



②600-0151、600-0153 温度-粘度曲線



ロックペイント株式会社



ROCK PAINT
可使時間

Instruction Manual for ROCKTEX

	600-0150			
液温	20°C		30°C	
シンナー希釈量	15 部希釈	40 部希釈	15 部希釈	40 部希釈
可使時間	2 時間	3 時間	2 時間	2 時間

	600-0151			
液温	20°C		30°C	
シンナー希釈量	70 部希釈	130 部希釈	70 部希釈	130 部希釈
可使時間	4 時間	4 時間	4 時間	4 時間

	600-0153			
液温	20°C		30°C	
シンナー希釈量	70 部希釈	130 部希釈	70 部希釈	130 部希釈
可使時間	4 時間	4 時間	4 時間	4 時間



ロックペイント株式会社

2018.3 第 7 版



ROCK PAINT
塗膜性能

Instruction Manual for ROCKTEX

被塗物:リン酸亜鉛処理鋼板 Pb144

塗装仕様	プライマー	051-5110 ロックメタルアーマーECO グレー		
	膜厚	30 μm		
	セッティング	10分間		
	ベースコート	073-5250 ハイロック ECO ゼットブラック		
	膜厚	30 μm		
	セッティング	10分間		
	硬化条件	60°C × 1時間		
	トップコート	全艶有	光沢調整品	全艶消し
	膜厚	30~40 μm	30~40 μm	15~25 μm
	セッティング	10分間		
	硬化条件	60°C × 1時間		
試験項目	試験方法	結果		
光沢	60° グロス	85 以上	30~70	10 以下
耐擦傷性	真鍮ブラシ 荷重 1kg100 往復 外観	異常無し	異常無し	異常無し
硬度	引っかき硬度(傷)	HB	B	B
付着性	2mm × 2mm 碁盤目	100/100	100/100	100/100
耐衝撃性	デュポン式 φ 1/2" × 500g	50cm	50cm	50cm
耐酸性	5%硫酸 浸漬 5 日間	異常無し	異常無し	異常無し
		100/100	100/100	100/100
耐沸騰水性	沸騰水浸漬 1 時間 外観 二次付着性 (2mm × 2mm)	異常無し	異常無し	異常無し
		100/100	100/100	100/100
汚染性試験	マジックインキ塗布後 1日放置	エタノールで除去可	エタノールで除去可	エタノールで除去可
	クレヨン塗布後1日放置	エタノールで除去可	エタノールで除去可	エタノールで除去可
耐溶剤性	トルエン:石油ベンジン =1:4 浸漬1日	異常無し	異常無し	異常無し



ロックペイント株式会社

2018.3 第 7 版



Instruction Manual for ROCKTEX

●資料記載情報についての注意

1. 弊社で万全を期して行った試験に基づくものであり、保証値ではございませんので、ご使用に際しましては、事前に十分な確認を実施の上ご使用下さい。
2. 製品の改良等により予告無しに記載データ、数値等の変更をさせて頂く場合がございますが、改良・変更等により生じた如何なる損害に関しましても当社は責任を負わないこととします。
3. 実際の使用結果並びに特許上の権利を保障するものではございません。
4. 指定膜厚以外での塗装を行うと艶ムラや光沢上昇を起こす可能性があります。
5. ベースコートがラッカータイプ、もしくは硬化が不十分な状態でトップコートの工程を行うと塗膜が割れることがあります。

●取り扱いおよび保管上の注意

1. 取扱い作業は火気の無い所で行ない、局所排気装置を取付けて下さい。
2. 屋内塗装を行う場合は塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸込まない様にして下さい。
3. 取扱い中は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、防護めがね、長袖の作業衣、襟巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
4. 取扱い後は、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分にを行い作業衣等に付着した汚れをよく落して下さい。
5. よくふたをし、5℃以上、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。
6. 塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダストなどは廃棄するまでは水につけておいて下さい。
7. 容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 廃棄する際は産業廃棄物として認可業者に処理を委託して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

●緊急時および応急処置

1. 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 容器からこぼれた場合には、布(ウエス)等で拭きとり水をはった容器にいれて保管して下さい。
3. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は医師の診察を受けて下さい。
4. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけはやく医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
6. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけはやく医師の診察を受けて下さい。

●安全、衛生上の注意

この製品は、有機溶剤や健康に有害な物質を含有しておりますのでご使用の際には上記の注意事項を守って下さい。なお、詳細につきましては製品容器記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照下さい。



ロックペイント株式会社

2018.3 第7版